

●氾濫をできるだけ防ぐ ・減らすための対策

河川区域 集水域

ためる、しみこませる

[国、県、市町、企業、住民]
雨水貯留浸透施設の整備、
田んぼやため池等の治水利用
⇒**霞堤の保存、**

ため池の

**事前放流・低水位管理、
間伐等の森林整備**

ためる [県、関西電力]

利水ダム等において貯留水を事
前に放流し、水災害対策に活用
⇒**二川ダムでの事前放流**

[県、市町]
遊水地等の整備・活用

安全に流す

[県、市町、企業]
河床掘削、砂防堰堤、雨水排水
施設等の整備

⇒**有田川の治水対策、
下水道管渠の整備、
雨水ポンプ場の増設・改築、
砂防堰堤、溪流保全、
地下水排水、
山腹工、溪間工 など**

氾濫水を減らす [県]

「粘り強い堤防」を目指した
堤防強化等

●被害対象を減少させるための対策

集水域 氾濫域

よりリスクの低いエリアへ誘導／住まい方の工夫

[県、市町、企業、住民]
土地利用規制、誘導、移転促進
不動産取引時の水害リスク情報提供、金融による誘導の検討
⇒**宅建業法改正 水害リスク情報の重要事項説明が義務化、
農振地域の農転の監視、土地利用規制の検討、
まちづくり活用のための多段階の浸水想定区域図の作成**
被害範囲を減らす [県、市町]
二線堤等の整備



●被害の軽減、早期復旧 ・復興のための対策

氾濫域

土地のリスク情報の充実 [県]

水災害リスク情報の空白地帯解消等
⇒**水害リスク空白域の解消**
(支川等における浸水想定区域
図の作成)

避難体制を強化する [県、市町]

長期予測の技術開発、
リアルタイム浸水・決壊把握、
防災情報の充実

⇒**水位計・監視カメラの設置、
ハザードマップの作成・周知、
タイムラインの作成・運用、
避難場所の安全レベル設定、
防災ナビアプリの普及啓発**

経済被害の最小化 [県、企業、住民]

工場や建築物の浸水対策、BCPの策定
⇒**BCP策定ワークショップ開催**

住まい方の工夫 [企業、住民]

不動産取引時の水害リスク情報提供、
金融商品を通じた浸水対策の促進
⇒**宅建業法改正 水害リスク情報
の重要事項説明が義務化**

氾濫水を早く排除する

[国、県、市町等]
排水門等の整備、排水強化
⇒**排水ポンプ車、可搬式ポンプ**

支援体制を充実する [国、企業]

官民連携によるTEC-FORCEの体制
強化

※今後の調査・検討等により変更となる場合がある

二級水系
流域治水プロジェクト

有田川流域治水プロジェクト

～有田みかんの生産地を流れる有田川における流域治水～

○有田川流域において、昭和50年8月洪水、昭和57年7月洪水（台風10号）と同規模の水災害による被害を軽減するための治水対策を行うとともに、流域における事前防災対策を推進し、浸水被害の軽減を図る。



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

洪水氾濫対策

有田川（堤防整備、堤防耐震補強、河道掘削、堰改築、護岸改修）
天満川（護岸工）、お仙谷川（導流堤工）

内水氾濫対策

●下水道管渠の整備 ●雨水ポンプ場の増築・改築

土砂災害対策

●砂防堰堤工、溪流保全工 ●地下水排除工
●山腹工 ●溪間工

流水の貯留機能の拡大

●二川ダムにおける事前放流

流域の雨水貯留機能の向上

●ため池の事前放流・低水位管理
●間伐等の森林整備 ●霞堤の保全

■ 被害対象を減少させるための対策

水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫

●農振地域の農転の監視 ●土地利用規制の検討
まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実
●まちづくり活用のための多段階の浸水想定区域図の作成

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地の水害リスク情報の充実

●水害リスク空白域の解消（支川等における浸水想定区域図の作成）
あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供
●水位計・監視カメラ等の設置・増設 ●防災教育や避難訓練等の実施
避難体制等の強化 ●ハザードマップの作成・周知
●タイムラインの作成・運用
●避難場所の安全レベル設定や和歌山県防災ナビアプリの普及啓発等による迅速な避難行動の促進
●避難所の安全対策、誘導體制等の構築・強化
●避難時間確保のための体制等の構築・強化
経済被害の軽減 ●排水ポンプ車、可搬式ポンプの配備



凡 例

- ⇄ 県管理区間
- 流域界
- 河川における対策
- 流域における対策
- 事業規模
- 浸水範囲 (平成23年9月台風12号)
- 河川対策(約80億円)



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

有田川流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～有田みかんの生産地を流れる有田川における流域治水～

● 有田川流域では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市町、国、民間等が一体となって、「流域治水」を推進する。

【短期】

・氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策として、有田川での堤防整備、河道掘削等を行い、治水安全度の向上を図る。

また、二川ダムやため池において、貯留水を事前放流し、水災害対策に活用する。

・被害対象を減少させるための対策として、農振地域の農転の監視やまちづくり活用のための多段階の浸水想定区域図の作成を行う。

また、浸水リスク等を踏まえた安全・安心なまちづくりを推進するにあたり、土地利用規制の検討を行う。

・被害の軽減、早期復旧・復興のための対策として水害リスク空白域の解消のため、支川等の浸水想定区域図、ハザードマップ作成を行う。

【中長期】

・有田川水系河川整備計画に基づく、計画規模の改修を完了させ、流域全体の治水安全度の向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削 民間砂利採取	和歌山県、企業	河川整備計画に基づく改修(有田川) 和歌山下津港海岸の老朽化対策を実施 民間砂利採取を実施		
	下水道管渠の整備 雨水ポンプ場の増設・改築	有田市	内水対策に係る管渠整備を実施 雨水ポンプ場の増設を実施	雨水ポンプ場の改築を実施	
	砂防堰堤工、溪流保全工、地下水排除工	和歌山県	城山谷川砂防事業など11箇所の整備	砂防関係施設の整備	
	山腹工、溪間工	近畿中国森林管理局森林管理署、和歌山県	高野山国有林、津保国有林 直轄治山事業の整備 楠本結城治山事業など6箇所の整備	治山施設等の整備	
	二川ダムにおける事前放流	和歌山県、(株)関西電力	平成24年6月より運用している二川ダムにおける事前放流		
	ため池の事前放流・低水位管理	有田川町	ため池の事前放流・低水位管理の啓発		
	間伐等の森林整備	近畿中国森林管理局森林管理署、森林整備センター、和歌山県、高野町	間伐等の森林整備を実施		
	霞堤の保全	和歌山県、有田川町	霞堤の保全を実施		
	被害対象を減少させるための対策	農振地域の農転の監視	有田市、有田川町	農振地域の農転の監視を実施	
		土地利用規制の検討	和歌山県、有田市、かつらぎ町、高野町、湯浅町、有田川町	浸水リスク等を踏まえた安全・安心なまちづくりを推進するにあたり、土地利用規制等の検討を実施	
まちづくり活用のための多段階の浸水想定区域図の作成		和歌山県	まちづくり活用のための多段階の浸水想定区域図の作成		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク空白域の解消(支川等における浸水想定区域図の作成)	和歌山県	支川等における浸水想定区域図の作成		
	水位計・監視カメラ等の設置・増設	和歌山県、有田川町	西谷川などの必要な箇所に河川監視カメラを設置 河川水位情報や河川カメラ映像の提供を実施		
	防災教育や避難訓練等の実施	和歌山県、有田市、かつらぎ町、高野町、湯浅町、有田川町、気象台	防災教育や避難訓練等の実施		
	ハザードマップの作成・周知	和歌山県、有田市、かつらぎ町、高野町、湯浅町、有田川町	ハザードマップの作成 ハザードマップの周知・啓発		
	タイムラインの作成・運用	和歌山県、有田市、湯浅町、有田川町	令和2年に作成したタイムラインの見直し及び適切な運用の実施		
	避難場所の安全レベル設定や和歌山県防災ナビアプリの普及啓発等による迅速な避難行動の促進	和歌山県	避難場所の安全レベルの設定 防災ナビアプリの普及啓発の実施		
	避難所の安全対策、誘導体制等の構築・強化	有田市、かつらぎ町、高野町、湯浅町、有田川町	避難所の安全対策、誘導体制等の構築・強化		
	避難時間確保のための体制等の構築・強化	有田市、かつらぎ町、高野町、湯浅町、有田川町	避難時間確保のための体制等の構築・強化		
	排水ポンプ車、可搬式ポンプの活用	和歌山県	配備済みの排水ポンプ車、可搬式ポンプの活用		

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。